

特集

ロングステイ

俱知安の観光といえば真っ先に思い浮かぶのは冬やスキー。だが、今「夏の俱知安」が観光地として注目を浴びていることをを皆さんはご存じだろうか。

注目を浴びる夏の俱知安

今年の夏、俱知安観光協会が把握しているだけでも500組以上のゲストが、本州や海外などのさまざまな地域から来町し、俱知安町を満喫している。その多くが1、2カ月程度、当町に長期滞在するロングステイゲストである。

8月4日（火）に行われたロングステイゲスト交流会にはおよそ150名ほどのゲストが参加していた。

「涼を求めて東京から俱知安町に来ました。2ヶ月間の滞在を予定しています。東京の夏は暑さをしのぐため、1日中家にいることしかできません。こちらはとても過ごしやすく、素晴らしい自然の中、毎日ウォーキングを楽しんだり、新鮮な食材を堪能しています」と笑顔で語るゲスト。

ゲストの大半はリピーターであり、友人と誘い合ってグループで訪れる人も多いという。中には滞在中に知り合い、次のシーズンに一緒に俱知安町を訪れる人も少なくない。

「観光」の形が多様化する近年、農山村地域において自然、文化、暮らしを楽しむ滞在型の余暇活動（グリーンツーリズム）が注目されている結果といえる。

俱知安観光協会のプロモーション活動に加え、ゲストの口コミなどにより、平成22年には80組程度だったゲストの数は年々増加し続けている。

夏の涼しい気候、豊かな自然に加え、ロングステイゲストの増加を後押ししている理由の一つは、コンドミニウムなど宿泊施設の多さが挙げられる。

コンドミニウムとは、いわば分譲マンションのようなもので、キッチンなどが完備されており、長期滞在に適した施設である。

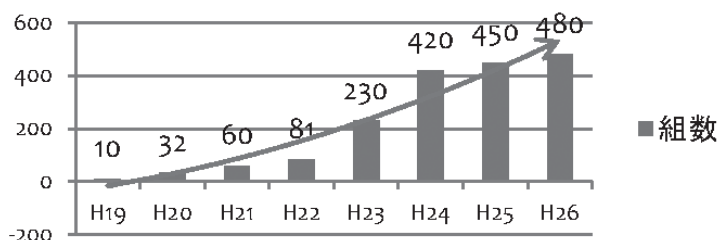
そのため、町に滞在するゲストの感覚は、「旅行客」というより「住民」に近いと、俱知安観光協会の澁谷さんは話す。

ゲストの中には、野菜などの食材を、あえて町の農家を訪ねて直接購入する人や、総合体育館など町内の公共施設を積極的に利用する人、文化サークル活動に参加する人、

るなど、地域住民との交流を望む人がとても多いという。

そのような要望をかなえるため、観光協会ではロングステイゲストと町民が一緒に参加し、楽しめるようなニセグリーンマーカーやゴルフコンペなどを企画しているが、まだまだ地域への浸透が薄いのが現状だ。

ロングステイ客数の推移



特集 ロングステイ

ゲストとの交流に向けた 取り組みへ

そんな中、8月12日（水）に倶知安農業高校でロングステイゲストを対象として、ポテトペーストを使用した料理教室が開催された。これまでも農業高校は同様の企画を町民に向けて行ってきたが、ロングステイゲストを対象に行われるのは今回が初めて。今回

の企画も生徒たちが自ら立案し、ロングステイゲストと一緒にぼてドーナッツや、アイスクリーム、ポタージュを作った。
集まった11名のゲストの中には、料理はもちろんだが、生徒たちとの交流を目的として参加したという人も多い。調理に取り組む中、高校生とゲストとの楽しげな会話が聞こえた。
「こんなに素晴らしい大自然に囲



まれた高校は、私たちの地元にはないので、とても驚いています。地元の方と触れ合えて嬉しいです」と参加したゲストから笑顔がこぼれる。

農業高校の松本奈巳先生は今回の取り組みについてこう語った。
「ゲストの方にとって倶知安町の食文化を知ってもらう良い機会になるのはもちろんですが、交流を通じて生徒たちにとっても改めて地元の素晴らしいさを再発見することにつながります。このような取り組みは生徒一人ひとりを成長させていくと思います」

観光が地域を元気にする

少子高齢化による人口減少が進み、多くの自治体が地域の活性化に向けて試行錯誤する中、観光客などの交流人口を増加させることが地域の活力を高める起爆剤として注目されている。そのため、ロングステイゲストは町を活性化させる大切な存在と言える。

このような状況において、地元住民にとっては、町を見つめ直す契機となっているのではないだろうか。

今や倶知安町にとって観光は大切に育てていくべき基幹産業であり、今後ますます地域資源を磨き上げていくことが求められる。私たち住民一人ひとりが町を見つめ



▲ニセコグリーンマーケットの様子

直し、倶知安町ならではの魅力を創出していくことが最高のおもてなしへとつながるはずだ。

同時に、町の魅力を住民自らがゲストに発信していくことも必要だ。ゲストと直接交流することで、町の魅力を深く知ってもらうこともできる。農業高校の取り組みは、そのことを体現したものと言える。

夏冬の観光客数が増えつつある今、倶知安町に吹いている風向きは良好だ。私たち一人ひとりが町を愛し、誇りに思い、ゲストに伝えていく。町全体で観光を盛り上げていくことが、これからの倶知安町には必要となってくる。

また来々となる町はもうろんだが、「また町民に会いたくなる町」を目指したい。